



HELLABUNNA

密姫伝

TOUKIDEN

— 卷之貳 —

HELLABUNNA GIANT COMICS 47
TOUKIDEN Vol. 2 ADULT ONLY

成人向

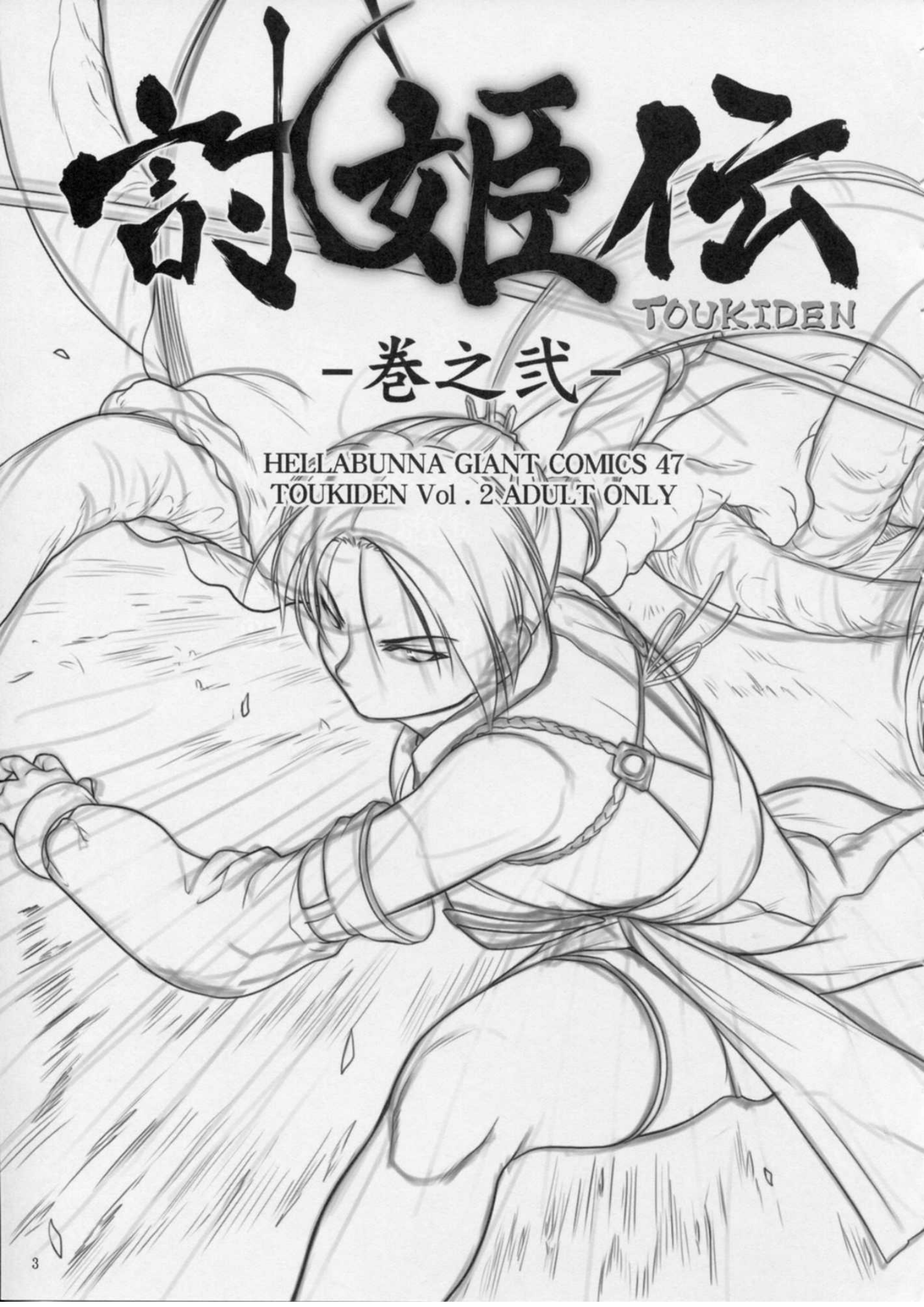


闘姫伝

TOUKIDEN

— 卷之貳 —

HELLABUNNA GIANT COMICS 47
TOUKIDEN Vol. 2 ADULT ONLY



討姫伝

TOUKIDEN

- 卷之貳 -

| | | |
|-----|----|----|
| 卷之貳 | 〇〇 | 7 |
| 追記 | 〇〇 | 60 |
| 付録 | 〇〇 | 62 |
| 後書 | 〇〇 | 63 |



討姫伝
TOUKIDEN
-卷之貳-

ふん：
この辺りの鬼を
狩り廻してる者が
おると聞いたが

……ぐっ

う……う

おん

こんな小娘の匂いも
抜けきっていない
牝一匹とはな

く……
おん

少しは手応えの
ある輩かと
勇んで来てみれば

んぐっ

うっ

これでは
拍子抜けも
いいところだが

おん

まあよい…

それでも
鬼祓いの巫女には
違いあるまい

貴様らに
打ち倒された
はらからの恨みは

く…

その身に償わせて
やるとしよう

や…あつ

うへっ

貴様の
生娘の秘肉にな

ひび



キサ…
…マツ





もう…
ダメですよ
こんな所まで
一人で…



ありがとうございます…
紅葉さん

立てますか？

はい
大丈夫…



ごめんなさい
紅葉さん

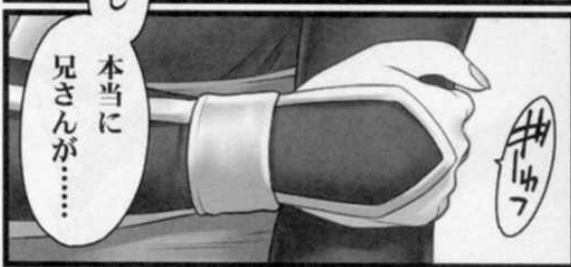


—でも



貴女は…
……時期頭首
なんですから

勝手はなさらないで
貴女にもしもの事が
あったら—



ハヤテ
頭領様は必ず
戻ってきますわ

私も…里の皆も
信じてます

必ず…此度の禍根を
突き止めて里に戻ると

だから私達は
里を守りましょう

あの方が
戻られた時に皆で
迎えられるように

それまで誰も
失う事のない
ように

……そうですね



ふっふ



ありがとうございます
紅葉さん

少し…
落ち着きました



さあ 里に
戻りましょう

大きな
鬼の気配は
ないけれど
この辺りは
危険です



ええ

土地そのものが
穢されてる
ような

めい/ん



そうですね

まるで…土に
瘴気が浸み込んで
いるみたい…



貴様を慰み物にして
晴らすとしよう

や……

離しなさいっ

やつ……

鬚り甲斐のある
体しておるわ

覚悟せい

じっくりと
楽しみながら
辱めてやるぞ

や……め

くうっ

離し……なさいっ

やめなさいっ

いや……
んっ





やめなさいっ
あつ

あつ

あつ
やめ...
あつ

あつ

やめ...

あつ

あつ

いやっ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

生意気な口を
きいておつても
所詮は女
慰み物にされる
屈辱は耐えがたい
であろう？

や...
あつ

あつ

あつ
あつ

あつ

あつ
あつ

あつ
あつ

こんな…無礼っ
許さないわよっ

はあっ

はあっ

大人しそうな
顔をしておるが
中々に気丈な女よの

だが—

うっ…く

この小娘は
どうかかな

いい声で鳴きよる
責様より余程
黠り甲斐がありそう
だぞ？

かすみっ

やめなさいっ
かすみには
手を出さな…



うっ

や...

くうっ

グワッ

ガク

ガク

ガク

覚悟はいいか?
二人まとめて
たっぷりと
蹴り尽くして
くれる

やめ...っ

かすみ
にはっ

嫌あ

グワッ

手を...
出さないでっ

グワッ

グワッ

グワッ

貴方に…傷を負わせたのは私ですっ

闘るのなら私をっ……

……っ

私を慰み物にして……くださいっ



だ…め紅葉さ

ほう
余程この小娘が大事と見える

自ら身代わりになると云うか



よかろう

ギョッ…

そうまで云うなら——



はあ…



いいぞ
いい具合だっ

褒美にたっぷり
鬼の精を
飲ませてやる



折角飲ませて
やったのに
吐き出しおって
飲みきれぬなら
乳房を寄せて
受け止めろっ

……



ようし…
自分の手で精液を
しっかりと肌
刷り込め

……



一滴たりとも
地に落とすで
ないぞっ

憎つき鬼に
穢された屈辱を

身を清めても
決して忘れられぬ
ようにな

……



……

……



うっ……ん

う……

自らの手で
肌を汚してる
気分はどうだ？

気高い巫女殿には
さぞや屈辱で
あらうなあ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ゴシゴシ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ



乳首には
特に念入りに
刷り込めよ

いつもの手慰みで
するように
よく弄り回してな

んっ……

んっ

んっ

そんな事っ……
してませ……ん

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ

ソウソウ



う……

な……

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

私の陰茎は
貴様の口では
啜えきれんな

乳房に奉仕
させてやろう

雌牛の如き
立派な乳にな

ミセキヤ……



う……

はあ

しっかり挟んで
搾りませよ

いや……あ

ニセキヤ

貴様一人で鬼を
満足させようと
云うのなら

全身くまなく
使って奉仕せねば
到底最後まで
身がもたぬぞ

ミセキヤ

う……

はあ

はあ



うっ……やっ……

コラー いいぞ 立派な物を ぶら下げてる だけあって

乳房の奉仕は 大した具合だぞ

は……あっ

あち ねちっ

はぁっ



な……何

はぁっ

……んっ

はぁっ

胸が……

……熱いっ

はぁっ

あ……

はぁっ……

はぁっ

どうして…
こんなっ

…感じ…てっ



早速効いて
きおったか



いやあ
鬼の精液は
女の肉欲を数倍にも
昂ぶらせるのでな



よく刷り込んだ
おかげで乳房が
驚くほど淫らに
なっております？

やめ…てっ



さあ…よく感じる
乳房でよがりながら
奉仕を続けるがいい



う…う

はあッ



いやあ

よく堪らなくて
おるの

乳房だけでまるで
女陰をかき回されるが
如くのがり様だな



念入りに
刷り込んだおかげで
乳首がまるで淫核の
如く感じるであろう？

いや
だめ

それ 自分の手で
肉棒に擦り付けて
しごき上げい

はしたない声で
鳴きよるわ

これではどちらが
悦ばせてやってるのか
わからんのう

乳だけで
果てよった

なんとも淫らな
巫女殿だの

もっと大事な
女の穴を
翫ってやるぞ

嫌女嫌女

カ

カ

中々可愛いらしい
ナリをしておる

いやあ

無理にでも
捻じ込んで
くれるかな

カ

いやあ
いやあ
いやあ

こんな小さな
穴では我が
陰茎はおろか

肉の根ですら
啜えきれるか
どうか

にちや

カ

カ



あーあーあー

ほう
すんなり
啞えよった

使い込んで
おらぬ様だが

この感触…貴様
生娘ではないな

巫女の分際で
男を知っておるとはな

ならば
少々の事で壊れる
心配もいるまい

肉壺を存分に
かき回して
くれよう

鬼に犯された
様子もないと
すると

操を守らねば
ならぬ身でありながら
男をたらしこみ
よったか
全くふしだらな
女よの



悦んではかり
おらぬで上の
口でも奉仕せい

穴一つでは
到底足りんぞつ

女房

女房

女房

女房

女房

女房

女房

女房

女房

女房

女房

女房

女房



らふ...

やめ...

やめ...

やめ...

やめ...

フシ

貴様の
身代わりになると
自ら申し出たのだ

うぐっ

よく見ておけ

ガッ

鬼祓いの巫女などと
粹がって我らに
仇なさば

ガッ

ガッ

いかな目に
遭うのかをな

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

やめてえ...

うぐっ

お願い...

貴様の為に
溺られておるのを
黙って見ておれぬと
云うのなら

貴様にも
手伝わせて
やろうか

やめてっ
や...
はあ



お願いっ
小娘を
気遣う余裕が
出てきたか
少しは
こなれて
きおったか



やめてくださ...
はあ

かすみには

はあ
はあ

手を
出さな...
い...でっ



よい ならば
肉根といわず
我が肉茎を啜え
させてやろう

ん...
はあ

自ら跨って
奉仕してみせい

う...う
はあ

はあ...
はあ

これで
満足させられたら
小娘は無事に帰して
やるとしよう

ん……う

ムキムキ

ムキムキ

ムキムキ

だ……めえ

こんな……

大きなのっ

入らな……いつ

はあ？

どうした？よもや
小娘にやらせる
気ではあるまい？

だ……めっ

だ……め
せめてっ

かすみ……だけは
無事……でっ

ぬ……

ぬ……



割れ目を
目一杯に開いて
飲み込みよった

いいぞ...さあ
尻を振って
肉壺で刷り上げい



どうだ 鬼の肉棒は
人間のオスなどは
比べ物にならないだろう

この味を知ったら
人間同士のまぐわい
なぞでは決して
満足できぬ身と
なるぞ



そうだと
這いつくばって
腰を突き出せ

ハハハ
いい恰好だぞ
尻の穴まで
丸見えにして
腰を振っておる

いやあ

二...キ

女

女

女



もっと大きく
股を開け

女の悦びを
貪ってる様を
見せつけい

そんなっ



見ない…でえ

かす…み

お願いっ
見ないでえ

しかと
見やれ小娘



つい先程迄
気丈に振舞って
おった巫女殿が

牝の本性
剥き出しで
よがり狂っておる

意地を張ろうと
所詮は女よの

見な…
いでえ

いや…

うう…



いいぞ
いい腰使いだ
すっかり
奉仕の心が
身についたか

ようし：
褒美に穴の中に
我が精をたっぷりと
くれてやろう

鬼の精を溶びれば
どうなるか乳房で
思い知ったろうが



鬼の精を膣に
注ぎ込まれたら

それだけは
やめてっ

お願いっ

だめっ
それだけはっ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

乳房などとは
比べ物にならぬ
悦びを味わえるぞ



だめ

だめ だめ だめ

じっくり
味わえい

しっかり
染み込ませて
やるぞっ

やめっ

女の大事な穴の
肉壁の隅々までっ

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん





バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ

バババ



たった一度で
満足するなど
思ふなよ

正気を保ったまま
最後まで耐えるとは
大したものだ
だが

まだまだ
注ぎ込んでやらねば
気が済まぬわ

は...
も...う
や...あ



.....っ

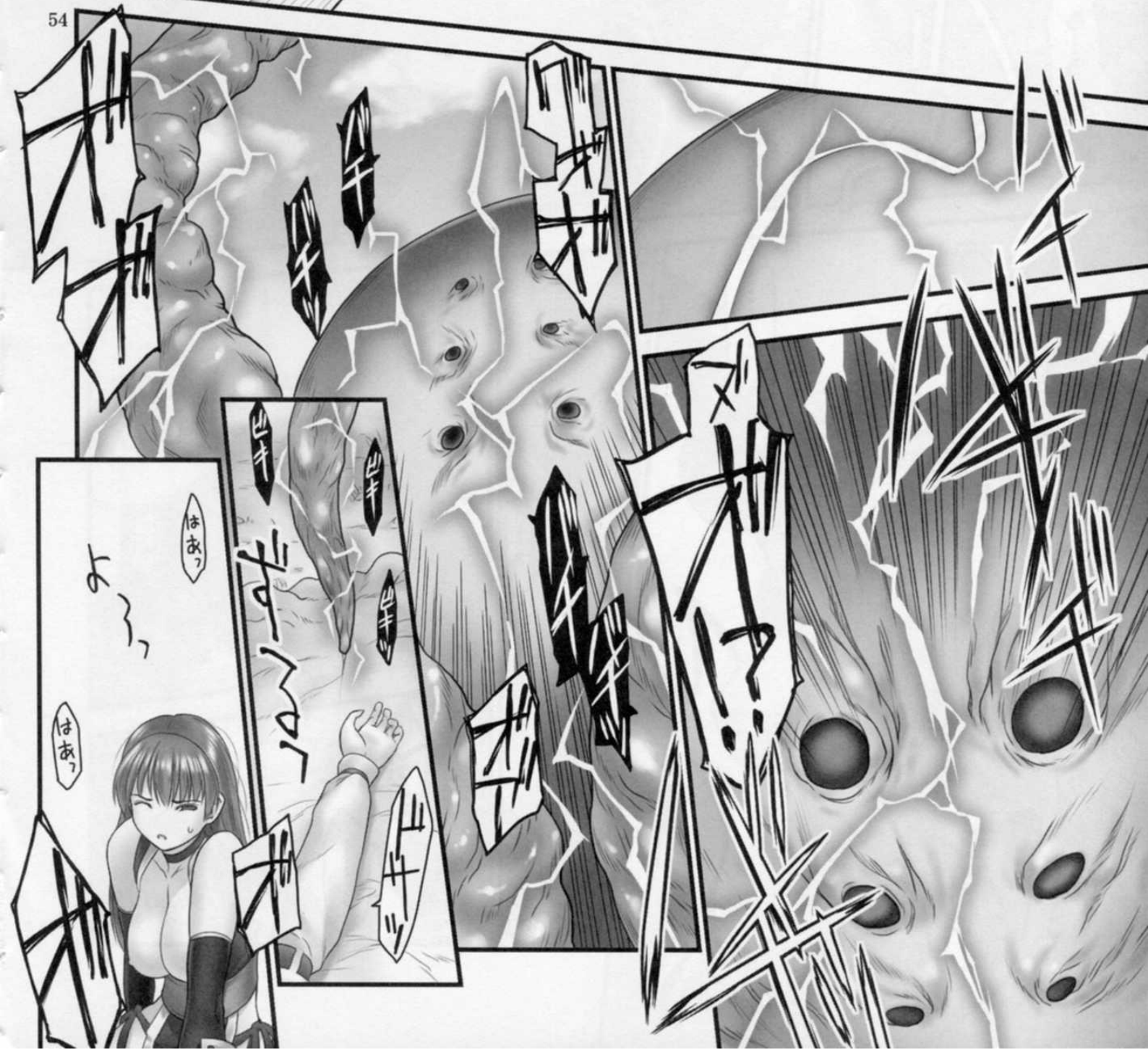


どこまで耐えられるか
楽しみながら鬨り
尽くしてくれる



.....っ

天の御魂





……か
す……み？

は

紅葉さんの
今のめいじり…

はは



…

慰み物として
存えさせて
やろうと思うたが

どこまでも
抗う気ならば

せめて
鬼祓いの巫女として
死なせてくれる



小賢しい
真似をつ…

おの…れ
小娘っ

セキツ

セキツ



!!







—— 続く ——



倅姫伝

TOUKIDEN

-卷之貳-

古文のセンセで水泳部の副顧問
プールから上がる時は後ろに
男子生徒が集中するという

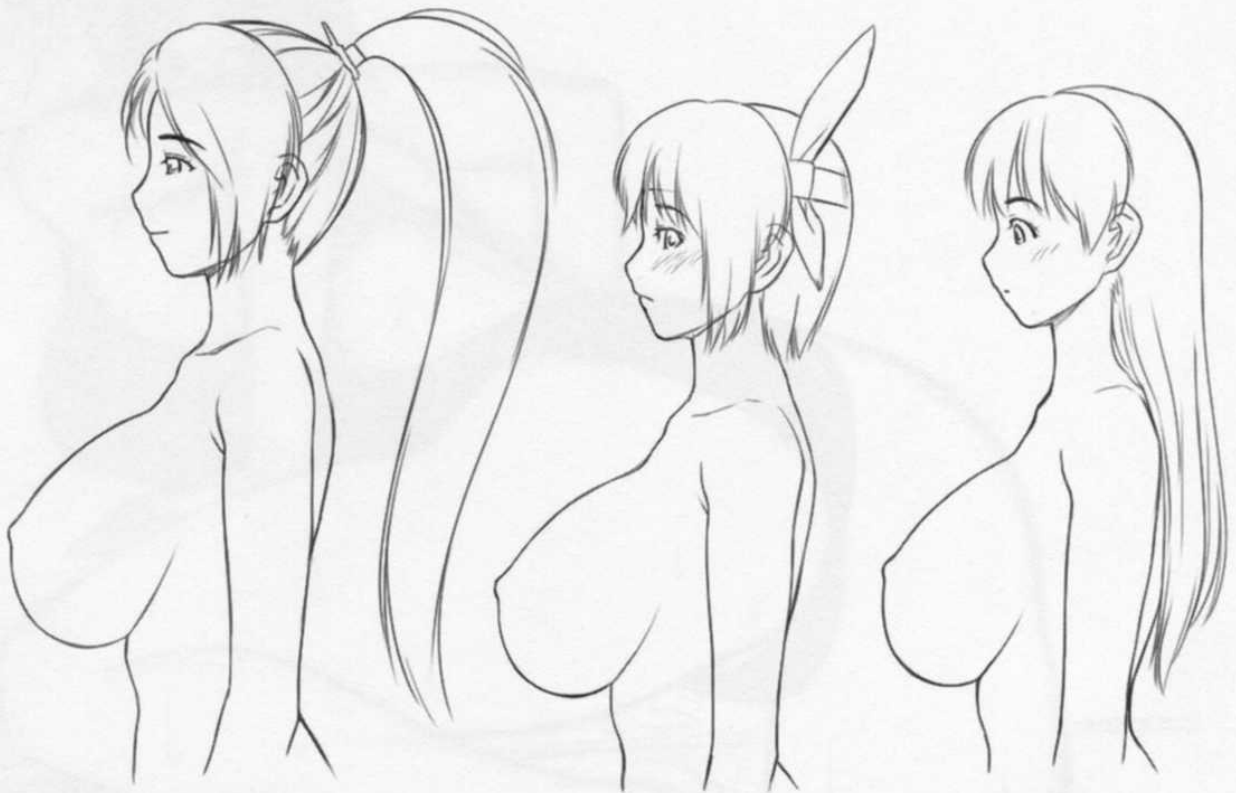
のをもっと描きたかったけど
もうホントに時間切れ・・・

んしょ。



ちぢくあべ

設定だと爆巨豊だけど原稿に描いた
結局ど木も爆乳で差がねえぞアハハと
言おうと思っただけ



爆

爆

爆

設定の時点がすげに差がない。

あとがき

こんにちわ、いるまかみりです。

久しぶりに分単位でギリギリです。

今回局部修正が非常に濃い処理に

なっていますが事情をお察してくだ

さい。なんだアレだ、いろいろ。

今回紅葉さんでいろいろ書きたい

事もあったんですがホントに時間

があー。

かみり





討姫伝

TOUKIDEN

- 卷之貳 -

発行サークル：へらぶな
発行者：いるまかみり
発行日：2013/12/31
印刷：コーシン出版

連絡先

hbgc@ninus.ocn.ne.jp

この本の一部または全部を
無断で複製、改造、転載、
またはデジタルデータにして
使用、販売、配布することを
固く禁じます。

へらぶな HP

<http://www5.ocn.ne.jp/~hbgc>

へらぶな e-mailaddress

hbgc@ninus.ocn.ne.jp

いるまかみり Twitter

<http://twitter.com/irumakamiri>



たっー
キョコたっこ
向きどきないかたせー

ナ、ナと片付けないと
帰れないぞ!!

ちゅっと男子!!
何サホッコンのっ

俺またー
キョコキョコマン
ヤベー

ホーヤベー
超ホッキ
しんすー

モーホラッ
まんこ使わせて
あげるかいらっ

ナ、ナとみんナ
しま、こ片付け
終わらせなナにおっ

うふふ

ほ……っ
外に……
こぼした……
また……挿入
しなましご……



ナ、ナ
世か……い……
おキナ

何……、
モ……

うふふ
うふふ

うふふ
うふふ

うふふ
うふふ

うふふ
うふふ

こんな校風
(どんなよ)の
学校に通いたが
ったとぞ

は……

ここに見本誌シールを貼ります。

皆さんはお手元のお好きなミク
タヨーシールとが神戸牛ブラン
ド証明シールを貼ってお楽しみ
下さい。



ついにねんがんの
Shantae
日本版配信決定！！
しましたね。楽しみ。

発行サークル：へら承な
発行者：いるまかみり
発行日：2013/12/31
印刷：コーシン出版
連絡先：
hbgc@ninus.ocn.ne.jp

この本の一部または全部を
無断で複製、改造、転載、
またはデジタルデータにして
使用、販売、配布することを
固く禁じます。



劍姬伝

TOUKIDEN

—卷之貳—